

◇春の講演会

日時：3月12日（月）18時30分講演開始

会場：キャンパス・イノベーションセンター5F リエゾンコーナー

演題：ウナギの謎を追って

講演者：日本大学・生物資源科学部

海洋生物資源科学科・ウナギ学研究室 教授 塚本勝巳様

<ご経歴>

塚本先生は1948年岡山県生まれ。1971年東京大学農学部水産学科卒業。

現在、東京大学名誉教授、日本大学で教鞭をとられております。

2007年 日本農学賞・読売農学賞、2012年 日本学士院エジンバラ公賞、

2013年海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）を受賞。

著書に「ウナギのなぞを追って」（国語教科書 四下 はばたき、光村図書）、「ウナギ大回遊の謎」（PHP）、「うなぎ 一億年の謎を追う」（学研教育出版、第61回青少年読書感想文全国コンクール 中学校の部 課題図書）、「魚類生態学の基礎」（恒星社厚生閣）、「Eels and Humans」（Springer）、「Eels on the Move」（Tokai University Press）などがあります。

<ご講演内容>

他の魚に比べ、ウナギの生態には謎が多いことが知られています。川の魚のように思われているウナギは、実は遥か海の彼方で生まれ、はるばる何千キロメートルもの旅をして、成長のため川にやってきます。そして親になると、自分が生まれた外洋の産卵場を目指して正確に戻ってゆき、卵を産んで一生を終えます。こんなにもダイナミックで不思議が一杯のウナギの一生について、学術的にも非常に価値が高い内容をユーモア交えてわかりやすくご講演いただきました。

塚本 勝巳教授著





塚本先生



ご参加者の方々



ウナギ産卵場調査の歴史